

2017年8月18日
オーストラリア政府観光局

2017年6月の日本人渡豪者数は前年同月比7.4%増、上半期プラス成長 今秋以降、直行便増加を控え、さらなる市場拡大に期待

オーストラリア政府観光局(以下「TA」、日本支局：東京都千代田区、日本局長：中沢祥行・ジョー)は、オーストラリア政府統計局(ABS)による集計結果から、2017年6月のオーストラリアへの日本人渡航者数が単月で2万1700人、前年比7.4%増となりましたことをご報告いたします。今年上半期6ヶ月としましては、18万9500人と前年比5.9%増、また、7月以降も夏休みの旅行先として日本人渡豪者数は堅調に増加の見込みであり、下半期の伸びにも期待しています。

人口減少や高齢化に加えてテロによる海外渡航自粛など、海外旅行市場が様々な課題に直面している中、オーストラリアは時差が少なく安全な旅行先であるというイメージが再認識されていることから、日本人渡豪者数の増加へとつながっていると考えます。また、4月にメルボルンにて開催された「世界のベストレストラン 50」の積極的なプロモーションなどを通じて、オーストラリア観光の魅力の一つとして質の高い食とワイン体験が、幅広いターゲット層の注目を集めています。



2016年の年間日本人渡豪者数が8年ぶりに40万人を超えたことを基盤に、TAでは、中期的な目標として2020年までに70万人をターゲットに様々な施策に取り組んでいます。中沢日本局長は、「JATA 夏休み旅行動向調査によると、今年もオーストラリアは人気のデスティネーションとして7位に選ばれており、特にファミリー旅行に支持されています。また、夏休み以降は、9月1日(金)就航の日本航空の成田ーメルボルン直行便や、12月14日(木)就航のカンタス航空の大阪(関西)ーシドニー季節運航便などが更なる追い風になると信じ、まずは今年目標の50万人を達成できるよう、今年下半期も引き続き、航空会社、旅行会社、州政府観光局と協力していく方針です」と、述べています。

引き続きTAでは、日本におけるオーストラリアへの“サードウェーブ”(第三のブーム)を牽引すべく、航空会社、旅行会社、州政府観光局をパートナーに、より多くの旅行者にオーストラリアへの上質な旅を訴求してまいります。TA公式サイトを中心に、デジタル、FacebookやTwitterなどのSNS、テレビ、交通広告、旅行会社店舗など幅広いチャンネルでの多角的なプロモーション活動を継続し、展開してまいります。

<本リリースに関する報道関係者の問い合わせ先>
オーストラリア政府観光局 広報センター(フルハウス内) 大竹/谷口/出口
電話:03-5218-2582/FAX:03-3401-8085